2026 年度

学 生 募 集 要 項

奈良学園大学大学院
リハビリテーション学研究科
リハビリテーション学専攻
【修士課程】

奈良学園大学
NARAGAKUEN UNIVERSITY

建学の精神

高度な専門学術知識に裏付けられた実践力を有する有能な人材を教育・養成し、地域社会及び社会全体の発達・発展に貢献する。

教育理念

現実に立脚した学術の研究と教育を通じて、明日の社会を開く学識と実務能力を兼ね備えた指導的人材の育成を目指し、時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をつちかい、誠実にして協調性のある心身ともに豊かでたくましい実践力を持った人材を養成する。

目次

リハビリテーション学研究科の教育方針・教育研究上の目標 ‥‥1
リハビリテーション学研究科のポリシー ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥1
募集人員 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥

■ リハビリテーション学研究科の教育方針

本研究科では、多様化する保健・医療のニーズに対応できる科学的根拠に基づいた臨床実践力を養うとともに、地域・施設の現場においてリハビリテーション医療に関わる多職種間の連携を推進し、社会に貢献できる高度専門職業人を育成する。

■ 教育研究上の目標

- 臨床現場において科学的根拠に基づいた臨床実践能力を備える。
- 地域包括ケアシステムにおける連携・調整能力を備える。
- 臨床的医療と地域における生活支援を包括する広い視野を持ってリハビリテーション領域の問題解決を図る能力を備える。

――― 奈良学園大学大学院　リハビリテーション学研究科のポリシー ―――

(1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究科では、修士課程修了までに以下に掲げる内容を身につけることを求める。その上で、所定の単位を修め、研究倫理審査、中間報告会などを経て、修士論文審査に合格した院生に修了認定および学位を授与する。

- 多様化・高度化するリハビリテーション関連業務が可能な専門性の高い実践力と知識・技術を身につけていること。
- 臨床や地域におけるリハビリテーションを阻害する課題を発見し、科学的に分析し課題解決に寄与することができる能力を身につけていること。
- リハビリテーション領域における臨床・実践・教育・研究などに取組む高度専門職業人として指導的・中心的な役割を果たすことのできる能力を身につけていること。
- 高い倫理観に基づいて、専門性を追求し、リハビリテーション領域の研究課題に主体的に取り組むことができる能力を身につけていること。

(2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

CP1：医療・保健・福祉の総合化と拡大を背景に多様化・高度化するリハビリテーションへのニーズに対応できる専門的知識・技術を修得するための科目を備え、体系的・組織的な教育を行う。

CP2：臨床や地域の現場においてリハビリテーションの実践を阻害する課題を発見し、科学的根拠にもとづいた解決に寄与する能力を養成するために、研究法に関する講義と演習の科目を備え、課題解決の過程を系統的に学修させる。

CP3：リハビリテーション領域の臨床・地域支援・教育・研究などの分野で指導的・中心的な役割を果たす能力を養成するために、組織の運営、職種間連携、教育法を含む科目を備え、各人の目的に応じて履修可能な教育課程とする。

CP4：高い倫理観に基づいてリハビリテーション領域の課題に対処し、解決への方策を積極的に提案できる能力を養成するために、特別演習、特別研究の科目を設け、研究を指導する。

CP5：学習成果の評価は各授業科目の達成目標と評価方法をシラバスに示し、レポートや課題などにより総合的に行う。

(3) 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 本研究科の設立の理念・教育目標を十分に理解している人。
2. リハビリテーション学および関連領域を学ぶ強い意欲を持ち、大学院で学ぶための基礎的学力（リハビリテーション学および関連領域に関する知識・技術、論理的思考力と対人コミュニケーション能力、文章表現力、専門英語の読解力）を備えている人。
3. リハビリテーションおよび関連領域の専門職に求められる思いやりの心・責任感・継続力などを備えている人。
4. リハビリテーションおよび関連領域において、中核的・指導的役割を果たす高度の専門職業人として将来活躍が期待できる人。

募集人員（男女共学）

研究科	専攻	課程	募集人員
リハビリテーション学研究科	リハビリテーション学専攻	修士課程	４名

試験日程

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期日
１期	2025 年 9 月 3 日(水) ～ 9 月 12 日(金)	9 月 21 日(日)	9 月 24 日(水)	10 月 10 日(金)
２期※	2026 年 1 月 21 日(水) ～ 2 月 2 日(月)	2 月 8 日(日)	2 月 10 日(火)	2 月 27 日(金)

※１期の募集状況により２期の試験を実施しないことがあります。

試験区分・出願資格

(1) 一般入学選抜

次の①から⑤のいずれかに該当し、かつ日本国の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師のいずれかの免許を有する者、もしくは入学までに取得見込みの者

① 大学を卒業した者または 2026 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
② 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
③ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師の養成校である短期大学、専修学校または各種学校等を卒業・修了し、3 年以上の医療職の実務経験を有する者で、本研究科における出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
④ 文部科学大臣が別に指定する専修学校の専門課程（修業年限が４年以上あることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）を文部科学大臣が定める日以降に修了した者および入学の前月までに修了する見込みの者
⑤ 文部科学大臣が指定した者（昭和２８年文部省告示第５号）

(2) 社会人入学選抜

「(１) 一般入学選抜」の出願資格のいずれかに該当する者で、出願の時点で医療職として３年以上の勤務歴を有する有職者

募集分野・担当教員および事前相談

◆ **事前相談申込メール受付期間**

【１期】 2025 年 7 月 15 日(火) ～ 8 月 8 日(金)

【２期】 2025 年 11 月 17 日(月) ～ 12 月 12 日(金)

事前相談の申込をするときは以下の内容を希望する分野の事前相談担当教員宛に送信してください。

件名 ： 大学院事前相談申込
本文 ： ①志願者氏名 ②連絡先メールアドレス ③電話番号 ④最終学歴
⑤長期履修の希望有無 ⑥大学院での研究テーマの概要

受付後、教員から具体的な相談の方法について、メールまたは電話により返信します。
メール送信から 1 週間を経過しても返信がない場合は、入試広報課までお問い合わせください。

分野	事前相談担当教員	連絡先メールアドレス
臨床実践リハビリテーション学分野		
運動機能障害リハビリテーション学	橋本 雅至 飯塚 照史 藤田 信子	hashimoto@naragakuen-u.jp iitsuka@naragakuen-u.jp nobuko-fujita@naragakuen-u.jp
内部機能障害リハビリテーション学	伊藤 健一 阿波 邦彦 野中 紘士	itok@naragakuen-u.jp anami@naragakuen-u.jp nonaka@naragakuen-u.jp
高次脳機能・心理障害リハビリテーション学	福原 啓太 東 泰弘	fukuharak@naragakuen-u.jp y-higashi@naragakuen-u.jp
生活支援リハビリテーション学分野		
地域リハビリテーション・ケア学	池田 耕二 城野 靖朋	koji-ikeda@naragakuen-u.jp yasutomo-jono@naragakuen-u.jp
疼痛ケア・リハビリテーション学	柴田 政彦 吉川 義之	mshibata@naragakuen-u.jp y-yoshi@naragakuen-u.jp
高齢者リハビリテーション学	辻下 守弘 木村 大介 滝本 幸治	tuzisita@naragakuen-u.jp yamagatar@naragakuen-u.jp takimoto@naragakuen-u.jp

※1 事前相談は希望する担当教員に直接連絡してください。
※2 希望する担当教員が未定の場合は下記の教員に連絡してください。
臨床実践リハビリテーション学分野 飯塚 照史 iitsuka@naragakuen-u.jp
生活支援リハビリテーション学分野 池田 耕二 koji-ikeda@naragakuen-u.jp

出願資格審査

出願資格「（１）一般入学選抜」の③に該当する者は、事前に以下の要領で出願資格の認定を受けてください。

◆ 提出書類

出願資格認定申請書	巻末付属の本学所定用紙に記入したもの。
成績証明書	最終出身学校の学長・校長等が発行したもの（厳封したもの）。
卒業証明書	最終出身学校の学長・校長等が発行したもの。
在職期間証明書	任意の様式で、機関の長等が勤務期間および勤務内容を証明したもの。
学歴に関する資料	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師の養成校である短期大学、専修学校または各種学校等の当該課程の入学資格、卒業要件（在学期間・授業科目・単位数等）および履修要件・授業科目のシラバス等。

※ 改姓・改名により成績証明書等の氏名が異なっている場合は、改姓したことを証明できる書類（戸籍抄本等、ただし、マイナンバーが記載されていないもの）を添付してください。

◆ 提出期間

【１期】　2025 年 8 月 18 日(月)　～　8 月 25 日(月)【消印有効】

【２期】　2026 年 1 月 06 日(火)　～　1 月 13 日(火)【消印有効】

◆ 提出方法

市販の角 2 サイズの封筒の表に「大学院出願資格審査書類在中」と朱書きし、「簡易書留速達」で下記まで郵送してください。なお、提出方法は郵送に限ります。入試広報課窓口での受付はできませんのでご注意ください。

【送付先】〒631-8524　奈良市中登美ヶ丘 3 丁目 15-1　奈良学園大学　入試広報課

◆ 審査方法

提出された書類により出願資格の審査を行います。なお、審査する上で必要と認めた場合は、改めて書類の提出を依頼することがあります。

◆ 審査結果の通知

【１期】　2025 年 9 月 1 日(月)に本人宛に郵送します。　※到着は翌日以降となります。

【２期】　2026 年 1 月 19 日(月)に本人宛に郵送します。　※到着は翌日以降となります。

試験方法

試験区分	試験内容	時間
一般入学選抜 １期・２期	①筆記選考（リハビリテーション専門科目） ②小論文	10：30～12：00 （①②合わせて 90 分）
	面接（個人 20 分）	13：00～
社会人入学選抜 １期・２期	筆記選考（リハビリテーション専門科目）	10：30～12：00 （90 分）
	面接（個人 20 分）	13：00～

※１　リハビリテーション専門科目には英語の内容を含みます。
※２　リハビリテーション専門科目は、臨床実践リハビリテーション学分野、生活支援リハビリテーション学分野から志望する分野の問題を解答してください。
※３　試験中は英和辞書（電子辞書不可）一冊の持込みを許可します。

入学の時期および修業年限

入学の時期・・・2026 年 4 月

修業年限　・・・2 年（長期履修学生は 3 年）

長期履修学生制度

通常の修業年限（2 年）を 3 年に延長する長期履修学生制度があります。長期履修学生制度を希望する場合は、出願時の入学志願票に明記してください（事前相談時に申し出が必要です）。

なお、入学後に通常の修業年限（2 年）から長期履修（3 年）への変更はできません。

出願について

※出願にあたっては、必ず志望する分野の教員に「事前相談」を受けてください。

◆ 出願書類

入学志願票	本学所定の入学志願票に記入したもの。
受験票	本学所定の受験票に記入したもの。
写真１枚	縦 4cm×横 3cm の写真（上半身、正面、無帽で出願前 3 か月以内に撮影したものを入学志願票の所定欄に貼付してください（写真裏面に氏名を記入すること）。
卒業（修了）証明書 または 卒業（修了）見込証明書	出身大学の学長が発行したもの。 学位授与機構から学士の学位を授与された者は学士の学位授与証明書を、授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書を提出してください。 なお、出願資格認定審査において、卒業証明書を提出した場合は、改めて提出する必要はありません。
成績証明書	出身大学の学長が発行したもの。 学位授与機構から学士の学位を授与された者（授与される見込みの者）は、学位授与申請の際に提出した各教育機関の成績証明書のすべてを提出してください。 なお、出願資格認定審査において、成績証明書を提出した場合は、改めて提出する必要はありません。
出願資格認定書	事前の出願資格認定審査を受けて、出願資格が認定された者は、本学より郵送された出願資格認定書を提出してください。
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師のいずれかの免許証（写） または 登録済証明書（写）	出願時に理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師のいずれかの免許を有する者はその免許証（写）。 ※理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師のいずれかの免許を取得見込みの者は国家試験終了後、すみやかに厚生労働省発行の登録済証明書（写）を提出してください。提出されない場合は、入学を取り消すことがあります。
履歴書（学歴・職歴）	Ａ４サイズの任意の用紙に高等学校入学時からの学歴および職歴を記入したもの（横書き）。 ※記載された内容は合否には関わりません。
在職期間証明書	社会人入学選抜の志願者のみ提出。 任意の様式で、機関の長等が勤務期間および勤務内容を証明したもの。 なお、出願資格認定審査において、在職期間証明書を提出した場合は、改めて提出する必要はありません。

※１　改姓・改名により成績証明書等の氏名が異なっている場合は、改姓・改名したことを証明できる書類（戸籍抄本等。ただし、マイナンバーが記載されていないもの）を添付してください。

※２　出願書類の提出後は、記載された内容の変更はできません。

※３　出願書類に記載された内容が事実と相違している場合は、入学を取り消すことがあります。

◆ 出願期間

【１期】　2025 年 9 月 3 日(水) ～ 9 月 12 日(金)【消印有効】
【２期】　2026 年 1 月 21 日(水) ～ 2 月 2 日(月)【消印有効】

◆ 出願方法

① 入学検定料は **35,000 円**です。本学所定の入学志願票・受験票・入学検定料振込依頼書に必要事項を記入し、出願期間内に金融機関窓口で入学検定料を振り込んでください。※入学検定料の他に払込手数料が必要です。

② 本学所定の出願書類提出用封筒に出願書類一式を封入の上、各試験区分の出願期間内に入試広報課宛に郵送してください（出願期間最終日消印有効)。受験票は出願書類の受付完了後、速達郵便で返送します。
※試験当日までに受験票の返送が困難であると思われる場合は、入試広報課から電話で連絡します。

【書類送付先】〒631-8524　奈良市中登美ヶ丘 3 丁目 15-1　奈良学園大学　入試広報課

◆ 出願上の注意事項

① 出願書類の提出方法は郵送のみです。入試広報課窓口での提出はできません。
② 出願後は、入学志願票および受験票に記入した内容の変更は一切できません。
③ 出願書類に不備があった場合は、訂正・補完を行うため、志願者本人に連絡することがあります。
④ 提出された出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。
⑤ 入学検定料は次の場合を除き、返還しません。
・入学検定料の納付後に出願しなかった場合
・入学検定料を二重に納付した場合

◆ 特別な配慮を必要とする志願者の受験について

- 疾病・負傷や障がいのために、受験時および入学後に特別な配慮を必要とする場合は、事前相談の際にご相談ください。
- 事前の相談がない場合は、受験時の配慮や入学後に修学上の配慮ができないことがあります。
- 出願後の不慮の事故や負傷・急な疾病等により受験上特別な配慮を必要とする場合は、速やかに入試広報課まで申し出てください。
- 必要な配慮の内容によっては、要望に添えない場合がありますのでご了承ください。

受験に関する注意事項

●試験当日の対応

① 試験当日は、試験開始の 30 分前までに定められた試験室に入室してください。なお、試験開始時刻から 15 分経過した場合は受験することができませんので注意してください。ただし、自然災害（大雨、大雪、地震、津波、洪水等）や事故等による公共交通機関の遅延など、やむを得ない事情により試験開始時刻までに到着できない場合は、入試広報課(TEL:0742-93-9958)に連絡し、担当者の指示に従ってください。
② 入試の実施に際し、可能な限り公平で良好な受験環境の保持に努めますが、やむを得ず次の対応をとる場合があります。あらかじめご了承ください。
（1） 不測の事態（地震等の自然災害や火災、停電、公共交通機関の遅延等）により、試験開始時刻の繰下げや正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、中止等の措置を講じることがあります。ただし、それによって生じた負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
（2） 試験室内の設備（机、椅子、空調、照明等）の違い等は、合否判定の際に一切考慮しません。
（3） 試験時間中に日常的な生活騒音等（航空機・自動車・通過する緊急自動車のサイレン・風雨・空調や照明などが発する音・工事の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の短時間の鳴動等）が発生した場合でも、特別な救済措置を講じません。
（4） 試験時間中に、監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴う音等に対する申し出には応じません。
（5） 他の受験者に迷惑であると判断される行為があった場合は、受験の中止を指示することがあります。
（6） その他緊急の対応を必要とする事項等については、本学ホームページに掲載します。

●試験会場について

① 試験は本学会場で実施します。試験会場へは公共交通機関を利用してお越しください。
② 試験当日の試験室への入室は、試験開始時刻の 1 時間前からです。
③ 試験室に入室した後は、受験番号順に定められた席につき、受験票を机上の受験番号票の手前に置いてください。
④ 試験室への付添いの方の入室はできません。付添いの方のために控室を設けています。
⑤ 試験日および試験会場を間違えた場合は、受験することができませんので注意してください。
⑥ 試験会場の下見は、試験前々日の 9:00～16:00 に限り可能です。ただし、下見をする場合も、試験室への入室はできません。下見は建物の位置確認だけにとどめてください。

●持ち物等

① 面接は午後からとなりますので、昼食を持参してください。
② 受験票は、試験当日に必ず携行してください。受験票を紛失したり忘れたりした場合は、試験当日に受付の担当者に申し出て再発行の手続をしてください。
③ 試験中に机上に置くことができるものは、受験票、黒鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム、鉛筆削り(小型で音のしないもの)、時計(時計の機能だけのものに限る)、英和辞書一冊に限ります。
④ 携帯電話・スマートフォン等は試験室に入室する前に電源を切り、必ずカバンの中に入れてください。

●試験中の注意

① 試験室では監督者の指示に従ってください。
② 試験時間中に不正行為があった場合は、試験室からの退室を命じ、それ以後の受験は認めません。なお、当該試験を含めて全ての成績を無効とします。
③ 試験中の態度を判定の際に考慮することがあります。
④ 試験時間中に質問等がある場合は、静かに手を挙げて監督者の指示に従ってください。
⑤ 試験時間中の試験室からの途中退出はできません。気分が悪くなるなどした場合は、静かに手を挙げて監督者の指示に従ってください。
⑥ 配付された問題冊子を持ち帰ることはできません。

●感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等）について

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、麻疹等）に罹患し治癒していない場合、他の受験者や試験監督者等への感染のおそれがありますので、受験はご遠慮願います。ただし、病状により医師の診察を受けて、伝染のおそれがないと認めたられたときは、この限りではありません。
なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還はいたしませんので、体調管理については十分に注意してください。

不正行為について

(1) 不正となる行為

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験内容の成績を無効とします。

1. 入学志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の写真の貼り付けまたは写真データをアップロードすることや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること。
2. カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、持込みが許可されていない教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
3. 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
4. 配付された問題冊子、解答用紙を試験時間中に試験室から持ち出すこと。
5. 解答開始の指示の前に問題冊子を開いたり、解答を始めること。
6. 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。
7. 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類をカバン等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
8. 解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

(2) 不正と疑われる行為

上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、(1)と同様です。

1. 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
2. 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
3. 試験室において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
4. 試験室において監督者等の指示に従わないこと。
5. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

合格発表

① 合格発表日に本学のホームページから合否結果の照会ができます（合格発表日の 12:00 から翌日の 20:00 の間に限ります）。大学構内での掲示等による発表は行いません。

② 合格者には、合格発表日に「合格通知書」および「入学手続に必要な書類」等を送付します。郵便事情により異なりますが、書類の到着は翌日以降となります。不合格者には通知書等の送付は行いません。

③ 合否結果の照会で「合格」と確認できたにもかかわらず、合格発表日から３日経過しても合格通知書が届かない場合は、入試広報課まで連絡してください。

④ 合否に関する電話および郵便等による問合せには一切応じません。

入学手続

◆ 入学手続期間

【１期】　2025 年 9 月 24 日(水) ～ 10 月 10 日(金)

【２期】　2026 年 2 月 10 日(火) ～ 02 月 27 日(金)

◆ 入学手続方法

所定の入学手続期間に、「入学金・学費等の納入」および「入学手続書類の提出（入学手続期間最終日消印有効)」を行ってください。入学手続方法の詳細については、合格通知書送付時に通知します。

◆ 注意事項

① 所定の入学手続期間に入学手続を完了しない場合は、入学できません。

② 有職者で、入学後も継続して勤務する場合は、所属長または代表者の「入学承諾書（合格通知書送付時に同封)」を提出してください。

入学金・学費・諸費

※次年度以降の納付金の額は、社会情勢の変動により変更する場合があります。

入学金・学費・諸費（修業年限２年）

	前期納入金	後期納入金	初年度納入金（合計）	2年目納入金（合計）
入学金	200,000円＊1	―	200,000円＊1	―
学費（授業料）	217,500円	217,500円	435,000円	435,000円
学費（教育充実費）	157,500円	157,500円	315,000円	315,000円
諸費（学生傷害保険料）	4,500円	―	4,500円	4,500円
合計	579,500円	375,000円	954,500円	754,500円

＊1　本学保健医療学部リハビリテーション学科卒業者は50,000円

入学金・学費・諸費【長期履修学生(修業年限３年)】

	前期納入金	後期納入金	初年度納入金（合計）	2年目以降納入金（毎年度）
入学金	200,000円＊1	―	200,000円＊1	―
学費（授業料）	145,000円	145,000円	290,000円	290,000円
学費（教育充実費）	105,000円	105,000円	210,000円	210,000円
諸費（学生傷害保険料）	4,500円	―	4,500円	4,500円
合計	454,500円	250,000円	704,500円	504,500円

＊1　本学保健医療学部リハビリテーション学科卒業者は50,000円

MEMO

MEMO

受験番号	※

※欄には記入しないでください

出願資格認定申請書

フリガナ		性別	生 年 月 日
氏　　名			西暦　　年　　月　　日
現 住 所	〒　　－		
自宅電話		携帯電話	

年（西暦）	月	学歴（高等学校入学時から記入すること）

年（西暦）	月	職歴

年（西暦）	月	所有するリハビリテーション関係の資格や受講した研修等があれば記入

（ハサミなどで切り取ってください）

入試スケジュール

	7月	8月	9月	10月
1期	事前相談申込メール受付期間			
	2025年7月15日(火)～8月8日(金)			
		出願資格審査提出期間		
		8月18日(月)～8月25日(月)		
			審査結果の通知	
			9月1日(月)	
			出願期間	
			9月3日(水)～9月12日(金)	
			試験日	
			9月21日(日)	
			合格発表日	
			9月24日(水)	
			入学手続期間	
			9月24日(水)～10月10日(金)	

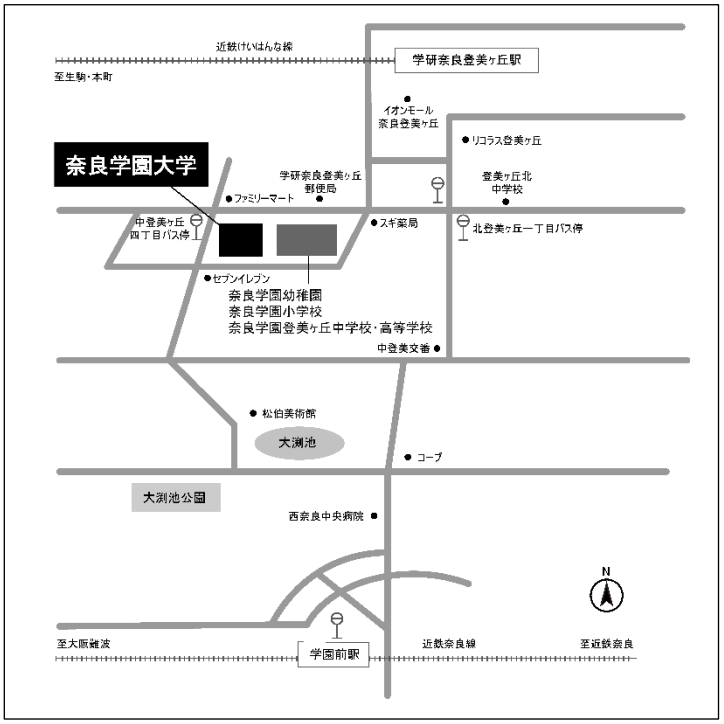
	11月	12月	1月	2月
2期	事前相談申込メール受付期間			
	2025年11月17日(月)～12月12日(金)			
			出願資格審査提出期間	
			2026年1月06日(火)～1月13日(火)	
			審査結果の通知	
			1月19日(月)	
			出願期間	
			1月21日(水) ～ 2月2日(月)	
				試験日
				2月8日(日)
				合格発表日
				2月10日(火)
				入学手続期間
				2月10日(火) ～ 02月27日(金)

試験会場

本学会場

奈良市中登美ヶ丘 3 丁目 15-1

・近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から西へ約 1,000m
・近鉄奈良線「学園前」駅（北口）から奈良交通バス約 9 分
　「中登美ヶ丘四丁目」バス停下車、東へ約 150m
・近鉄京都線「高の原」駅から奈良交通バス約 15 分
　「北登美ヶ丘一丁目」下車、西へ約 620m
・JR 学研都市線「祝園」駅から奈良交通バスで約 25 分
　終点「学研奈良登美ヶ丘」駅下車、駅から西へ約 1,000m



奈良学園大学
NARAGAKUEN UNIVERSITY

□人間教育学部　人間教育学科
□保健医療学部　看護学科・リハビリテーション学科
□大学院　看護学研究科・リハビリテーション学研究科

奈良学園大学　入試広報課　　〒631-8524　奈良市中登美ヶ丘 3 丁目 15-1
TEL.0742-93-9958（入試広報課直通）　　https://www.naragakuen-u.jp/